夕刊
磐城新聞
三月十六日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇六五八五番

天氣豫報　小名濱測候所觀測
今晩も明日も北西の風晴時々曇

理想ある仕事

永田生

かつての古い記憶であるが、少年期から青年期にかけての私は、よく『アカギ叢書』といふものを讀んだ。多くは名著の梗概を書いた赤い表紙のリーフレットで現在の岩波文庫を貧弱にしたものだが、この時代には非常な新しい型であり多くよまれたようだ。今日の改造社や新潮社其の他の文庫などは、殆と物眞似に過ぎないようだ。トルストイ、イブセンも最初に知つたのはこの本であつたし、値段も非常に安かつた。

讀書は、人間を常に向上させるばかりでなく、慰安を與へるのは說明までもない。その圖書があまりに高價過ぎるのは大衆に取つて少なからぬ苦痛だ、古本でもよいではないか！と云ふかも知れないが、新しい本から受ける感じは古本の感じとは別だ。新しい本が何故高いかと云ふのは、出版業者が宣傳廣告料を非常に多く出すので高くなつて居る。有力な新聞になると一頁一圓が三千圓以下と云ふ事はない。とにかく『アカギ叢書』は安價だつたのは現在の文庫類の比較出來ぬ程である。この出版をやつた人が刊行の辭を書いて一冊々々に掲載した文章が實に深刻であり切實だつたように記憶して、今日でも思ひ出すが、それはこんな意味だつた——

私は、中學校を卒業してから世の中に何をやらうかと考へて、立派な本を安く賣つて讀書を普及させることが如何に社會的に大きな仕事であり意義があるかと云ふことを知つた。そして、この仕事に身を投じ、先づ本屋の小僧になつて幾年かは荷車をひいて東京市中を歩き商賣を見習つた云々とあつたようである。

その頃の中學校卒業者は現在の大學出よりも就職口はあつたらう、小僧になつて行くものは一人もあるまい。彼は敢然として荷車引きから本の配達から勉强して、安く良い本を大衆に賣る事に信念をもつて盡したようである。尊い仕事であり頭の下るのを覺へた——このことは、どんなにかこの人の出版又は取扱ふ圖書に對して、信頼と感謝を捧げたか知れなかつた。しかし時代も進んで來た今日では、更に自家出版の少數でなく有力な各種出版物も特價され安價に買へる方法があるのだと云ふが、果してその販賣元を信頼してよいかどうかは疑問を持たれると、言ふのは少なからぬインチキが横行して居るからだ。その中にあつて『千草書房』のような、信頼出來るところが特賣をして讀書家が經濟的に圖書を購入出來る機關を設けてくれたとは、よりよく發展せしめて大衆に共通な利益を與へたいものだと思ふ。特賣がする圖書もいろ／＼あるその定價から割引く値段でも大きな相違だと云ふ話だ。費用をかけず實數・手數料だけ堅い信念を持つ[illegible]出した『千草書房』の特賣品などは、今日の[illegible]要な存在だと思ふ。

伯耆三德山（二）

島田忠夫

○三德山三佛寺は、役の行者の開創といふ。今、天台宗に屬す

○さわさわと鳴る谷みづは見えずして向つ岩山に瀧かかりたり

○山水は草うごかして湧きながるあな珍らしき羊齒のむらがり

○うづたかき道のおち葉を踏みのぼるしりへ音して時雨せまり來

○片しぐれ岩山もみぢに[illegible]しぶきあげつつ走る谷みづ

○深谷に水漬く葎むらゆ移るあかせうびんの忽ち見えず

○わが友にあゆみ遲れて描きうつす時雨のあとを照るもみぢ山

（あかせうびん——川せみのこと）

贈木下回春園副園長　珠雲　小野務本

謙讓溫和雖比肩
慈心仁術德聲傳
門頭日夕人如織
起死回生知幾千

3月17日
△高山幸、鈴木德人力車を發明す（明治三）△伊太利使節來朝（昭和一三）△國家總動員法案衆議院を通過（同）

○

歌舞の町晝は靜かに柳かな　みかげ

講談

恩讐無道

(53)　久我荘多郎　香川三十代畫

―天の卷―　流れ雲（二十三）

「な、なにつ？」

病みつかれて蒼ざめた顏が、いつぺんに土色となつた。骨張つた手が、ガク／＼ふるえる。恐らく足もそうだらう。

藥賣りも番頭も、びつくりした程なのだ。

「會津が……鶴ケ城か…」

と、うわごとのやうに繰返すのである。

「陷ちた？本當か。嘘はあるまいな？」

ぐ、ぐつと、寢床から身を乘り出して來るのだ。

驚いた藥賣りは、腰を浮かした

「は、本當でございます。嘘は、申しません」

「あゝつ！」

絶叫するやうに洩らすと、がつくりと首垂れる專藏である。が、それも瞬間だ。

こんど、顏を上げた彼を見ると目が引き釣つてゐた。土色になつた顏の線が、ピクピク無氣味に動いてゐる。氣が狂つたのでないかと疑つたのは、藥賣りと番頭ばかりでない、お樂も、てつきりそれだと思つて、

「お、あなた！」

と、專藏に縋り付いた。

「確かり……確かりなさいませ。確かりして下さいませ」

さう力付けながら、いそがしく藥賣りの方へ目を轉じて、

「濟みません。どうぞ……どうぞお引取りなすつて」

それをいはれなくとも、もう逃げ腰の藥賣りと番頭だ。

「とんだことを申上げ…」

と、詫るともなく、お樂へ頭を下げると、立上つてそゝくさと部屋を出ようとする。

途端に、

「待てッ」

病人とは思へぬ、はつきりした聲で、專藏が叫んだ

「へ、へイ」

逃げそくねた二人は、その廊下へ、ベタベタと坐つてしまふ。

「會津は陷ちても、まだ餘命のある德川だ。誰が、錦切れに……。榎本どのの噂は聞かぬか？函館へ立て籠つたと云ふ釜次郎どのの噂を……？」

またしても、ぐ、ぐつと身を乘り出すのである。

齒の根も合はぬ樣子で、藥賣りは、

「い、一向……一向に、存じません」

それだけいふと、這ふやうに逃げ出した。番頭が、それに倣つた。

それを見てゐて、專藏はもう呼び止めはしなかつた。彼の胸はふいごのやうに波打つてゐる。

「うウむ」

と呻くと、その體に最後の力を籠めるやうにして、ヨロ／＼立上つた。

「あツ」

ギヨツとしたお樂が、

「御門さまッ」

「刀……刀を……」

血走つた目は、あらぬ空間を睨みつけて、

「刀を……刀を……」

と繰返すのである。

その姿に、いひやうのない鬼氣を感じたお樂は、走り出して、思はず床の間の刀を掴んで引返して來た。

「は、はい。……お刀…」

專藏は、その刀にすがつて、倒れやうとする全身を支ねた。

電話五九二番に變りました
食事　喫茶　酒場
レストラン　サロン
平市銀座街

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目　玉屋

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町　三六

鑑定項目
何んでもわかる……名前のみで一代の運命
体力　肉体　疾病　（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動　職業　天運　（適業、不適業）（天運、成功、不成功　炎厄）に關する一切
血緣　家族運　男女緣　（父母の緣、夫婦の緣　子供の緣）有無（氣質、相性、相尅、婚期方位に關する一切）
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

時局下の女性に！
◇社會待望の高尙なる婦人職業
◇又は家庭の衞生學として……
産婆看護婦をお奬め致します
第三十五回　生徒募集
斷然定評のある……
平。南町　産婆看護婦學校へ
◇申込みは早く
平産婆看護婦學校　校長　清野キヨ　電話三〇七番

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）磐田女學校前
『入院のお需めに應ず』（看護婦及び見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木[illegible]政
內郷村高坂、磐炭病院前
鈴木醫院

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市內四丁目
スヾキタクシー　電二一七番

第一線の慰問品
二八
見不知羊羹と潮の華
平市五丁目
泉屋菓子店　電話六六八

精神病科　腦脊髓病科　神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生　電話九二五番
入院隨時
院長　醫學士　金森五郎

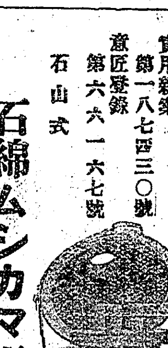
旅館
大幸館
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷區六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　強口唯七郎
自動車部　電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主　院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　小兒科　院長　鈴木定藏
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……每日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

明朗聽取
日本放送協會が指導製作
HK型ラヂオ
東北六縣同一値段
現金　¥50.00　月賦　¥53.00
販賣申込所
富永ラヂオ店　電四九六番
古山ラヂオ店
各郵便局

石綿ムシカマド
實用新案第一八七四三〇號
意匠登錄第六六一六七號
石山式
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が強く堅牢で火の元絕對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。



和洋銅物金物問屋
釜屋商店
平市五丁目

根本醫院
產科婦人科
平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
（病室完備　入院隨時）

戰時下の縣會選擧 愈よ半歳後に迫る
市町村別有權者數

戰時下の地方選擧、愈よ今秋九月二十五日は縣會議員の改選とあつて二十九萬の有權者により前回より一名多く四十四名の選良が擧げられるわけである。郡部から從來通り定員六名(有權者三七、二二二人)の外・平市から一名(有權者五、〇〇六人)を出す事になつた意味に於て市、郡下のそれは全縣下を通じて一番多彩の興味を加ふるものである。市町村別有權者數次の如く、市郡下四萬二千二百二十八名(前回より千二百四十人增)の總意が果して如何に反映するか『新らしき時代には新らしき人物を要す』なる必然の欲求からその結果刮目するに充分なるものがある

區分	現在	前回
平	五、〇〇六	四、三二二
泉	七九七	八〇三
植田	一、一八六	一、一七一
錦	一、〇九〇	六九六
上遠野	九二七	九三〇
川部	七八七	七六六
飯野	六五七	六六〇
高久	五一六	五五〇
江名	一、二五五	一、二五〇
小名濱	二、四六六	二、一六〇
磐崎	一、二二二	一、二〇五
內郷	五、二一八	四、七三五
赤井	一、二二八	一、三三九
箕輪永戸	七八三	七八一
三坂澤渡	八〇〇	八九四
草野	八九三	九三一
四倉	一、四二七	一、四五二
小川	八八一	九一三
川前	五三二	六二五
渡邊	二二二	四一八
山田	六〇三	六七三
勿來	一、七一八	一、六三七
入遠野	八三二	八五五
田人外	一、〇四二	一、〇七〇
夏井	五二五	五五四
豐間	八一〇	七四二
鹿島	三七二	三九一
玉川	四八一	四九六
湯本	三、一二一	二、六八四
好間	二、四〇四	二、二四九
神谷	六九九	七〇〇
大浦	八二三	八七〇
大野	七六七	七九二

女性でも働ける部署を授けて欲しい
警防團に淸野會長希望

應召勇士の壯行、遺家族の慰問をはじめ家庭防護群としての活動其他戰時下女性に課せられた使命に對する地方婦人の多角的の活躍は今更事新らしく云ふ迄も無いが、愈よ來月一日から創設される平市の警防團に對し、永年來之の方面に努力貢獻し來つた市內南町平產婆看護婦學校長淸野きよ女史は、昨十五日同校の第三十三回卒業式後、來賓の一人たる本田署長に

女性として働き得る一部署を與へてほしい旨を申し出で所屬產婆看護婦並に在校生を提げて敢然之に參加する決意を示したので署長も少なからず感激し夫々考慮する事になつたと

高田さん日赤看護合格

市內胡摩澤高田重郎氏の女千代子さんは本年度赤十字社看護婦採用試驗に合格來三十日上京・同家には戰線に立つた人がないので重郎さんも娘の働きを期待してゐる

警防團組織協議

來月から結成される平市警防團組織編成に關し市では今十六日午後七時から市內行政區長を市會議事堂に招いて種々附議する

採用は半數弱
志願者五百十名 磐女依然入學難

市內三中等學校の入學願書は磐女がトップを切つて昨十五日之を締切つたが總數五百十名。最終日の消印あるものを有效とするので尚は若干の增加あるにせよ大體前記を以てするも四九%と云ふ前年と略ぼ同率の依然たる入學難である。平第二の志望者十數名減から他も之に準ずるものとして全般的の幾分減を豫想したが郡部各方面に於ける向學心の旺盛が窺はれる。今十六日朝現在で磐中は百五十四名、平商九十五名であるが兩校とも二十日締切となつて居るので最後の實數は今の處豫斷が出來ない

・・斷水 市內五丁目地內水道工事のため五丁目、新川町、南町の一部分及立町、鎌田町全部は十六日午後九時半から翌朝二時半迄斷水

追善謠曲會
喜多稽古會主催 十九日公會堂で

平喜多稽古會主催故山崎與三郎、佐藤芳松、菅本利雄三氏追善謠曲會は十九日午前九時半から市公會堂日本間に開くが番組左の如し

(素謠)加茂、淸經、杜若百萬、烏頭、夜討曾我、海人 (連吟)籠小野勝康外 (仕舞)鵜之段淸野きよ子、紅葉狩鈴木留藏、芳俊神谷辰夫、谷行長瀨晶平 (仕舞)女郞花山崎喜代子、松風山崎菊子、融山崎忠兵衛 (素謠)伊藤千六、上野八朗、三井寺伊藤千六、後藤得三、上野八朗 (仕舞)網之段上野八朗・熊坂伊藤千六 藤戸後藤得三

投檜
投書歡迎

道路の早期修繕を

◇鋪裝道路の破損は恐らく交通量の多い事がその主因で決して工事の脆弱とは思はぬが至る處損傷して降雨の場合など自動車の爲めに凹所に溜つた泥水を彈ちかせらるる事が少くない ◇時局柄材料や勞力不足などで愈よ修繕の手が廻り兼ねるだらうが破損箇は之を擲つて置く丈其の場面を擴大し、隨つて修補の經費も多く要るわけだ ◇國も縣も市も其れ以外急施を要する幾多の事業のあることは吾人の想像に難からぬ處であるが支出を最少限度に止むる意味に於て舗裝の路面破損などはその都度遣つてほしい ◇何件かゞ出來た後に於て一緒に纏めて工事することは單り交通の支障などを來す許りでなく其の間損傷の程度を深化するものとして誠に感服出來ない。當局の一考を望む (二丁目私設道路看守)

陣中を聽く
(356)

誠に僅かな金乍ら勇士の慰靈に獻ぐ
元入山從業員 大和田虎司君(通信)

其後は意外々の御無音に打過ぎ由譯ありません何卒御容赦下さい。寒氣嚴しき折柄皆々樣には何の御暢りも無く日夜業務に御忙しき事と盛察申上げます。小生も皆樣の御援助御鞭撻によつて前線に二度目の新春を元氣旺盛で迎へました。乍他事御安心下さい。皆樣には萬全を期して銃後の護りに益々御精勵下さる樣御願ひ致します。前線の小兵も頑張りつゞけて居ります、彼の大別山脈の激戰を經てから廣東に移動し或は殘敵掃蕩に或は警備に不眠不休重大な任務に活躍し只今廣東平野〇〇警備に任じ次期作戰に待機の姿勢であります幸ひに益々元氣でありますから東洋永遠の平和確立のために奮闘して銃後の皆樣の御期待の幾分にも副ひたい覺悟であります留守中は家族のものも多大な御厚情にあづかり恙なく暮らして居り候事と承り誠に難有御禮申上げます。

別便の金五圓也は自治會員にて出征して名譽の戰死を遂げ護國の神となられた勇士の慰靈の費用の一部に充てられ度く御願ひいたします。

先は亂筆ながら戰地より皆樣の御建康を祈ります。

御支援の賜
市內仲町出身 古市勇君

―爾來〇滿を馳驅して討匪に〇〇警備に參戰しいき滿洲の野を驅け廻つた想ひ出の數々が髣髴として頭に浮び、明日無き命を誓ひ乍ら死線を越えた已が姿が不思議に見えてなりません感慨無量です。これこそ銃後皆々樣の御支援の賜でなくて何でありませう。討匪忙しきこゝ北滿一殘雪の兵營にて、更めて在滿中賜りました慰問袋と御激勵の御手紙とそして留守宅への絕大なる御支援に對し厚く御禮を申上げます(略)では略紙にて失禮乍ら銃後皆樣の御健勝をお祈りして擱筆します。

小學校と連絡
紹介所最後の馬力
―就職見取り決めへ
卒業近く

愈よ卒業の日近い小學兒の就職斡旋に關しては例年の如く管內小學校と緊密な連絡の下にある職業紹介所が最後の馬力をかけて居り軍需景氣に躍る各方面工場等から殺到する求人の波に寧ろ嬉しい悲鳴をあげてゐる狀態であるが卒業兒のうちには未だ確固たる就職方針も決らないものもあるらしいので此の際急ぎ取きめることゝなつた

これにより各小學校は(一)個々の未就職兒童の希望狀況を明かにし關係書類を整備應募せしめ又詮衡の際引率(二)兒童が比較的求人口の少ない給仕、事務員等を希望する時は兒童及びその保護者に事情を說いて他の方面へ就職(三)卒業後徐々に就職せんとするものはそれが修養上極めて不利なることを說得速に就職せしめ又紹介所では單に各小學校への求人聯絡だけでなく更に一步を進めて各小學校に出張して就職促進を懇談することゝなつた

滿洲移民先遣隊募集

市では縣からの通牒に依る目下第九次滿洲農業移民先遣隊員二十五名を募集してゐる資格は年令徵兵檢查終了後三十才迄の農耕經驗者來月十日で締切つて同月中旬から約一ヶ月間內地訓練の上渡滿するものでこれに對し政府では補助並に保護施設を講じて居り詳細同所に問ひ合せの上至急申込まれたいと

搜索願二つ

東京市足立區梅田町河野友作方有馬よし(三七)さんの母茨城縣多賀郡居住よのさん(六四)は昭和十年以來音信不通となり居るがそれが最近平地方に居るらしい噂があるのでよしさんから

〇 茨城縣前渡村前宿丑太郎妻小池あさ(五七)で數年前末子が輪禍にかゝつたのを苦に精神に異狀去る十日朝家出したが、自殺の虞れがあるとて丑太郎さんから何れも平署に搜查願

生業援護資金給與
物資動員の失業者に 縣が溫い救護の手

物資總動員の强化によつて傳來の家業を失ひ現に生活に困窮して居るものゝ救護の一施設として縣では今般これらに對し生業援護資金を給與することゝなり、右通牒に接した地方市町村でも目下該當者の申請其他準備を進めてゐる、その細則左の如し

(被援護者の範圍)1物資動員の强化に伴ひ失業し又は失業狀態に在る者にして自活するに足る資產其他收入の途を有せず現に生活に困窮せるもの2職業紹介、職業補導、授產又は資金融通等他の方法に依り援護し得る者は之を除外すること、但し其の過程に在る者にして前項の條件に該當するものは必要の限度に於て之を援護するも差支なきこと

(援護の種類)1生業に必要なる器具、資料等の購入費2生業の爲必要なる少額の資本3就職準備のため必要なる資金旅費、支度料其他

(援護の程度)1生業援護に就いては一世帶當五十圓以內とし、特別の事業ある場合に限り七十圓程度迄給與し得るものとす2就職準備資金に就いては一人當二十圓以內とし家庭其他の事情に依り特に必要ある場合に限り三十圓程度まで給與し得るものとす

お藥屋さん自肅
時局下の統制に就て 協會石城支部の申合せ

藥業協會石城支部では今般本田平署長から指示された定價販賣其他時局對應の左記諸事項を小野支部長から會員一同に示達趣旨の徹底を期する事となつた、從つて割引販賣は今後出來ないわけである

藥業協會設立の趣旨實踐

一、藥業協會に關する件

同業者相倚り相扶け會の圓滑なる發達向上を期し會員個々の繁榮を圖るを我が藥業協會存立の目的に有之候處往々會則の定むる趣旨を沒却するが如き所爲に出づる業者もあるやに及聞候に就ては管內各會員は時局の重大性と國民の總親和の喫緊事とを再認識せられ互に步調を一にし『國をまもれ鄕土をまもれ延て店頭を保て』のスローガンの下に故なき競爭賣品の濫賣を愼み專ら業界の繁榮と本會の發達助成に格段の考慮を拂はれ度右爲念及通知候也

西潟氏寄附

一昨十四日市葬に附された故陸軍步兵上等兵西潟知衛君の實父市內六間門德次郎氏は左の如く合計百圓寄附

(二十五圓)軍事後援會 (各十五圓)國婦、女子靑年、靑年團、國婦第三分會、城山靑年團

傷害

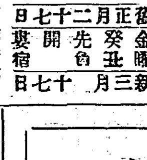
小名濱町本町某(三〇)外一名は十日夜同町上部で瀧澤玉平(三五)と喧嘩匕首を擬し、自轉車のチエーンで瀧澤を毆り右腰部其他に要四週間の傷

平市慶弔錄

△出生 本籍長橋町小名濱町船引場遠藤信保氏五男常夫君、鎌田町佐藤辛治郎三女本子ちやん

十七日
(小名濱測候所發表)

滿潮 前 二、三五 後 一二、五五
干潮 後 七、五〇 前 八、一〇



舊正月二十七日 金曜 癸丑 先負 開 婁宿 新三月十七日

▲一白 吉凶交々至り捕捉しがたき運氣自重が第一▲二黑 人のもつれ事には成るべく口を入れぬ樣すべし▲三碧 一時不安の氣に襲はるゝとも敗には至らず▲四綠 外に出ては口をつゝしみ世話事は目上にゆづるべし▲五黃 外に飛び廻らずとも內にありて十分發展す▲六白 一家同體となりて働けばじや魔物皆去るべし▲七赤 經卒の行ひをつゝしみ手堅く進めば大發展す▲八白 不況は世間並みと思ひて忠實に働くべき日▲九紫 和合を失はぬやう共に進めば大に吉し

國を護れ店頭を護れ
業務に忠實たれ

●新藥、賣藥、賣藥部外品其他正價販賣の事
●會則第六條を遵守し濫賣不正行爲は斷じてせざること
●違反者は會則第二十條に依り處罰せらる
●會員諸君自重自愛以て銃後の万全を期せ

昭和十四年三月十五日

福島縣藥業協會

會員各位殿

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多產種狸、フイツチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種

平產業養狸組合事務所
乾產業會 畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會

福島縣磐城種畜場

內鄕村 堀(平市外)
出張所 本驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合

◇藥品飼料各種◇

◇北里研究所製 ジステンパー豫防液
東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末 (動物わかもとの稱)
◇フイツシミール 榮養魚粉

病理研究、診療 榮養劑の配劑 飼育指導の需に應ず
擔任 技師 獸醫師

●看護婦至急募集●
(委細面談)

高柳醫院

病室・手術室完備
產科 婦人科
(物理療法科併置)
醫學博士 五十嵐雄二
(入院隨時)
平市新川町(電話三六九番)

生徒募集

◎願書受付 三月三十日迄

本科(三ヶ年卒業)一年五十名
裁縫專修科(一ヶ年卒業)一年百名
師範科(一ヶ年卒業)二十名
專攻科(一ヶ年卒業)三十名
▽本科、裁縫專修科二年補欠入學 若干名
▽附設洋裁科(六ヶ月修了) 若干名
◎詳細は學則請求ノコト

文務大臣認可 藤田女學校
平市田町(電話三二八番)